



Title	目で見るWHO 第54号 事務局だより・奥付等
Author(s)	
Citation	目で見るWHO. 2014, 54, p. 27
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/86706
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

第53号 冬号 のあらまし

- 世界保健デー2013年のテーマ「高血圧」
高血圧の予防と管理：よりよい人生のために 岩嶋 義雄
- WHO本部でのインターンシップ報告記
～エビデンスを求めて～ 土屋 良美
- jaih-s との共同企画フォーラムⅢ
jaih-s との共同企画フォーラムⅢ 開催報告 松園 梨代
「HIV/エイズとジェンダー」 垣本 和宏
- jaih-s との共同企画フォーラムⅢ【講義2】
「若年妊娠から考えるジェンダーと健康」 西原 三佳
- 国際NGO団体 AMSAの紹介
AMSAとは ～Asian Medical Students' Association～
梶島丈雄、石井佐知子、金牧有希、大須賀菜月
- 日本WHO協会 第3回禁煙セミナー
(2013・6・13 於 大阪歴史博物館)
「見える、確かめられる
タバコの煙の歯と口の健康影響」 埴岡 隆

第52号 夏号 のあらまし

- 日本WHO協会 フォーラム講演録
□と全身の密接な関係 和泉 雄一
□腔ケア・□腔リハビリは高齢者の命を救う
～絶対に忘れてはいけない□腔からの感染予防～
米山 武義
- TICAD V 公式サイドイベント報告
アフリカの健康、水、いのち 中村 安秀
アフリカの健康課題 関 淳一
アフリカにひろがる母子手帳 板東あけみ
SARAYA East Africa が始動するまで 代島 裕世
安全な水を世界の人へ 水野花菜子
村で守る母子の健康 ～HANDS ケニアのとりくみ～
網野 舞子
アフリカの健康を守るには?
ーケニアの人々が教えてくれた大切なことー
桐山 純奈

●公益社団法人 日本 WHO 協会 事務局だより

ファクトシート日本語訳について


疾病や健康課題に関する基本情報としてWHOメディアセンターから一般市民向けに公表されているファクトシートに関して、この度、日本WHO協会では、その日本語への訳出と公開についてWHO本部に申請し、3月19日翻訳許可を取得致しました。

現在125項目が公開されているファクトシートは、疾病や健康課題等WHOが取り組んでいる様々なテーマについて、例えば疾病であればその特徴や予防策、世界の患者数などの基本的な情報がキーファクトとして簡潔にまとめられ、しかも状況の変化に応じて頻繁に更改されますので、常に最新の概要を分かりやすく理解できるだけでなく、WHOサイト内のこれに関連する詳細情報の記載場所を探すうえでのインデックスとしても便利に活用できるという意味で、WHO情報にアクセスするうえでの極めて重宝な情報源となっています。


WHOの活動やその発信情報を出来るだけ多くの方にお伝えし理解の輪を広げるという当協会事業目的の本旨に沿った啓発事業として、ファクトシート日本語訳出と当協会ホームページにおける公開を出来るだけ早期に実現し、更には今後の見直し更新に応じた継続的フォローにも鋭意取り組んでいく所存です。

WHO への人的貢献を推進しよう


<p>新居合同税理士事務所 代表税理士 新居 誠一郎</p> <p>〒546-0002 大阪市東住吉区杭全1-15-18 Tel 06-6714-8222 Fax 06-6714-8090</p>	<p>岩本法律事務所 弁護士 岩本 洋子 弁護士 藤田 温香</p> <p>〒541-0041 大阪市中央区北浜2-1-19-901 サンメゾン北浜ラヴィッサ9F Tel 06-6209-8103 Fax 06-6209-8106</p>
<p>医療法人 光陽会 小森内科 院長 小森 忠光</p> <p>〒558-0011 大阪市住吉区苅田7丁目11番10号 平元ハイツ 1F Tel 06-6696-1171 Fax 06-6696-1173</p>	<p>大光印刷株式会社 代表取締役社長 細川 雄大</p> <p>〒546-0042 大阪市東住吉区西今川1丁目16番4号 Tel 06-6714-1441(代) Fax 06-6714-9393</p>
<p>株式会社 プロアシスト 代表取締役 生駒 京子</p> <p>〒541-0043 大阪市中央区高麗橋2-3-9 星和高麗橋ビル1F Tel 06-6231-7230 Fax 06-6231-7261</p>	<p>日本ポリグル株式会社 代表取締役 小田 節子</p> <p>〒540-0013 大阪市中央区内久宝寺町4-2-9 Tel 06-6761-5550 Fax 06-6761-5572</p>



金鳥の蚊取線香【世界初の除虫菊を含む蚊取線香】が
「重要科学技術史資料(未来技術遺産)」に登録されました
(国立科学博物館による登録)



創業者 上山英一郎は、世界初の蚊取線香を 1890(明治23)年に発明。
蚊取線香は世界中に輸出され、マラリア等 蚊が媒介する疾病の予防に大きく貢献し、
人々の健康を増進し、現在でも広く用いられています。



VECTOR-BORN DISEASES : Small bite, big threat

「節足動物が媒介する感染症から身を守ろう」

2014年世界保健デーのテーマには「節足動物が媒介する感染症」がとりあげられました。国内でもマダニによる重症熱性血小板減少症候群SFTSの症例が増えつつあります。マラリアやデング熱等についても、人々の海外勤務や旅行の機会は益々増大しており、気候変動等による疾患流行地域の広がりも相まって、今後罹患リスクが高まってくる実情にあります。

節足動物媒介感染症とその予防についての正しい知識をお伝えし、世界保健デーテーマ選定の意義や背景をふくめWHOへの理解を深めて頂くためのフォーラムです。



(地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目駅」2号・9号出口)

企業、健保組合、行政において健康啓発関係者や一般市民の皆様のご参加をお待ちしております。

◆日時 **平成26年6月13日(金)** 13:30~15:30

◆会場 **大阪歴史博物館4階第1研修室**

(大阪市中央区大手前4-1-32)

◆参加費 500円(資料代) ◆申込先着順 **80名**

●開会の挨拶「世界保健デーテーマの意義」

公益社団法人 日本WHO協会理事長 **関 淳一 氏**

●講演「地球規模マラリア根絶への挑戦」

大阪市立大学教授・カロリンスカ研究所 教授 **金子 明 氏**

●講演「海外帰国者の感染症罹患の現状」

大阪市立総合医療センター 感染症センター 部長 **後藤 哲志 氏**

●パネルディスカッション・ファシリテータ

大阪大学大学院 人間科学研究科 教授 **中村 安秀 氏**

参加ご希望の方は **Fax(06-6944-1136)** またはホームページよりお申し込みください。
<http://www.japan-who.or.jp/FS-APL/FS-Form/form.cgi?Code=seminar1>

グローバルな視野から健康を考え、国の内外で人々の健康増進につながる諸活動と WHO 憲章精神の普及活動を展開しています。私たちの活動に賛同し、継続的ご支援頂ける方のご入会をお待ちしています。

会員種別	年会費	
正会員 個人	50,000円	
正会員 法人	100,000円	
個人賛助会員	1口	5,000円
学生賛助会員	1口	2,000円
法人賛助会員	1口	10,000円

※(公社)日本WHO協会推奨商品等の禁止について

当協会では、特定の商品やサービスについてその品質性能等をWHOに関連付けて評価・認定・推奨するような活動は一切行っておりません。また、会員に対しても倫理規定を設け、当協会名を利用して消費者に誤認を与えるような商品販売・広告等の営業活動を行うことのないよう周知徹底いたしております。もし、当協会が関与したかのような事象にお気づきの場合には、事務局までご一報下さい。 公益社団法人日本WHO協会

機関誌 目で見えるWHO 第54号

2014 春号 平成26年 4月10日 印刷
平成26年 4月15日 発行

編集者 松浦 成昭 中村 安秀
発行者 関 淳一
発行所 (公社)日本WHO協会
〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-8
大阪商工会議所ビル5F
TEL 06-6944-1110 FAX 06-6944-1136
E-Mail info@japan-who.or.jp
URL <http://www.japan-who.or.jp/>
印刷 大光印刷株式会社 TEL 06-6714-1441

無断転載お断りします